2026年10月22日所長会見　所感

○　本日私からは、１点お伝えいたします。

○　10月16日で当発電所６号機の営業運転再開から半年を迎えました。

○　運転は順調に継続しておりますが、発電所運営の全てが順調だったわけではありません。

○　核物質防護については不適切な事案が続けて発生していることを重く受け止めております。

○　若い所員への教育のあり方など、社外の有識者のお知恵もお借りしながら、分かりやすく、実効性のある対策を実施してまいります。

○　核物質防護にかかる取り組みに終わりはありません。

○　日々発生する気づきや不適合の一つひとつを是正し、発電所のセキュリティをより高いレベルで持続できるように実直に取り組んでまいります。

○　なお、核物質防護に関する事案の早期公表について地域のみなさまからもお声をいただいております。

○　改めて、核物質防護に関わる情報は悪用されるリスクがあることをお伝えしていくとともに、お知らせすべき内容については、脆弱性の解消が確認でき次第、速やかに公表してまいります。

○　また、人身災害について、９月以降立て続けに発生し、今月19日にも１件けが人が発生してしまいました。

○　これまで申し上げている通り、このような状況に「危機感」を持っており、「危険源」に着目した現場パトロールを継続しています。

○　災害を防止し、より安全な発電所とする決意で取り組んでまいります。

○　一方で、９月末で解散となった当社原子力改革監視委員会のクライン元委員長が 10 月 1 日に来所され、「安全文化が根付いてきている」というコメントをいただきました。

○　これは６号機の起動工程における不具合対応や９月に発生した非常用ディーゼル発電機の不具合対応における安全側に立った対応について評価いただいたものと私は理解しています。

○　クライン氏からはこれまで多くの励ましの言葉とともに、時に、より安全レベルを高めるための厳しいご指摘、ご助言をいただいたことに大変感謝をしております。

○　クライン氏の言葉も胸に刻み、核物質防護や人身災害含め、引き続き関係者で議論をし、安全最優先のプラント運営をしてまいります。

○　本日私からは以上です。

以　上